

直近の家庭用牛乳乳製品の販売状況の推移を毎週発信してまいります。

お知らせ: 次回発信日は7月7日週報(予定)

発行: 一般社団法人Jミルク生産流通グループ

《～各地で好天、気温上昇～消費増加の弾みに～》

・6/20週の牛乳類の家庭内消費について、全品目通じて前週よりも販売個数が大きく増加し、前年水準に近づいた。特に成分調整牛乳、加工乳は前年を上回った。全国的に天候に恵まれ、気温が急上昇したことが消費増加の主要因となったと考えられる。牛乳については、販売個数を2019年同期(コロナ禍前)と比較すると、100.7%となっておりコロナ禍前を上回る需要水準となった。

・ヨーグルト類についても、前週よりも販売個数はさらに増加しており、特にドリンクタイプは前年比103.4%と前年を上回る結果となった。

・相次ぐ物価高に続き、今後、8月の電気料金は大幅な値上げになるとの報道があり、さらなる家計への負担増が見込まれ、牛乳乳製品への支出に対しても影響を及ぼすことが懸念される。一方で、最大消費地である関東圏では過去に例を見ない早さで梅雨明けとなり、観測史上最長の梅雨となったことや都府県においては、本日(6/30)時点で6日間連続の猛暑日が続かなか、次週(6/27週)の販売についてもこのまま堅調に推移することが期待される。

【牛乳類の販売速報(推定値): インテージSRI+】

(1) 直近動向(表①参照)

・直近(6/20週)の販売個数(前年同期比)は、牛乳: 同97.4%、成分調整牛乳: 同101.3%、加工乳: 同104.4%、乳飲料: 同96.7%。

牛乳類トータルでは同97.7%

※参考: 2020年度比は、牛乳: 93.3%、成分調整牛乳: 96.9%、加工乳: 95.0%、乳飲料: 88.3%(牛乳類トータル: 92.8%)

※参考: 2019年度比(コロナ禍前)の牛乳販売個数は100.7%。

・販売単価は、牛乳: 189.8円、成分調整牛乳: 174.1円、加工乳: 188.3円、乳飲料: 149.7円。

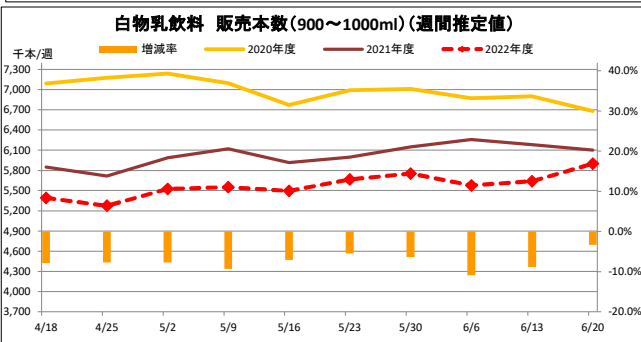
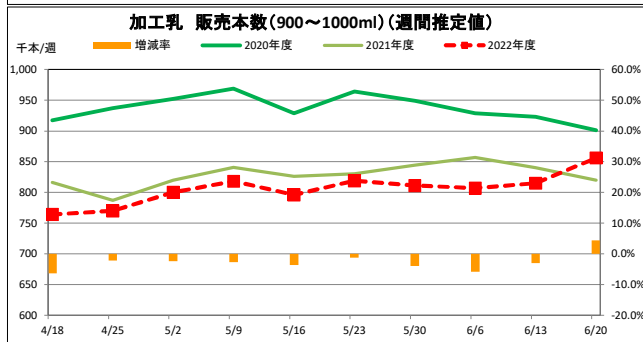
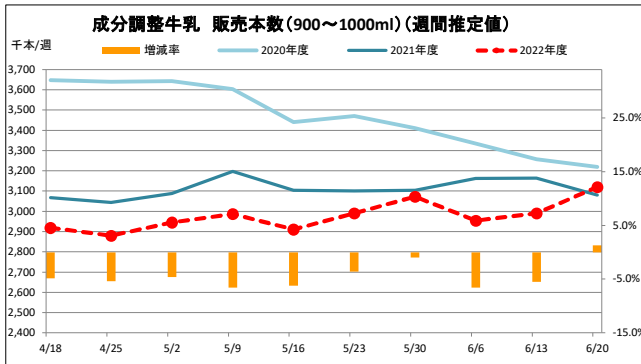
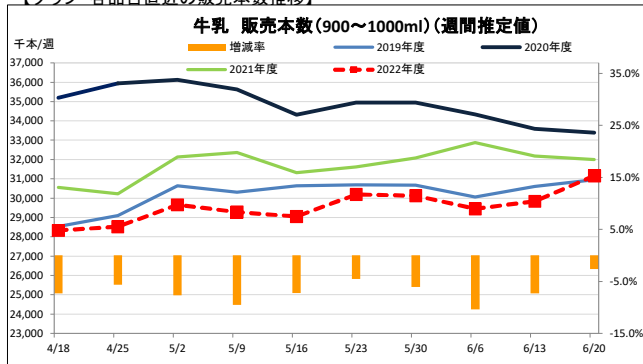
※出典 欄 インテージSRI+週データ。販売本数、販売単価(税抜)については推定値。データ転用はご遠慮下さい。

【表① 直近の牛乳類の販売動向】 ※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績

(単位: 千個、円)

品目	区分	5.2-	5.9-	5.16-	5.23-	5.30-	6.6-	6.13-	6.20-
トータル	販売個数	38,928	38,641	38,248	39,667	39,766	38,789	39,278	41,033
	販売個数前年比	92.6	90.9	92.9	95.5	94.3	89.9	92.7	97.7
	販売単価	183.2	182.6	182.7	182.8	183.0	182.9	182.9	182.8
牛乳	販売個数	29,657	29,285	29,046	30,192	30,127	29,451	29,835	31,157
	販売個数前年比	92.3	90.5	92.8	95.5	93.9	89.6	92.7	97.4
	販売単価	190.0	189.7	189.6	189.7	190.0	190.0	189.9	189.8
成分調整牛乳	販売個数	2,945	2,987	2,911	2,990	3,073	2,954	2,990	3,120
	販売個数前年比	95.4	93.4	93.7	96.4	99.0	93.4	94.5	101.3
	販売単価	173.9	173.3	174.0	174.1	173.4	173.8	173.6	174.1
加工乳	販売個数	800	818	796	819	811	807	815	856
	販売個数前年比	97.5	97.2	96.4	98.7	96.1	94.1	97.0	104.4
	販売単価	190.5	189.1	189.5	190.5	191.0	189.2	189.7	188.3
乳飲料	販売個数	5,526	5,551	5,495	5,666	5,755	5,578	5,638	5,900
	販売個数前年比	92.3	90.7	92.9	94.5	93.6	89.1	91.2	96.7
	販売単価	150.5	149.4	149.6	150.0	149.9	149.6	149.8	149.7

【グラフ 各品目直近の販売本数推移】



【ヨーグルト類の販売速報(推定値):(一社)Jミルク調べ】

(1)直近の動向(表②参照)

直近(6/20週)の販売個数は、ドリンクタイプ(90~250ml):前年同期比100%以上、個食タイプ(70~130ml):同90%以上、大容量タイプ(350~500ml):同90%以上。

(2)全品目通じて前週よりも販売個数が増加、今年度の週次最大販売個数を更新した。

ドリンクタイプは前年を上回る水準となり、堅調に推移している。

【表② 直近のヨーグルト類の販売動向】 ※量販店・コンビニ等、小売店の販売実績

品目	5.2-	5.9-	5.16-	5.23-	5.30-	6.6-	6.13-	6.20-
ドリンクタイプ	↓	↓	↔	↔	↔	↔	↔	→
個食タイプ	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔
大容量タイプ	↓	↔	↔	↔	↔	↔	↔	↔



:前年比90%未満



:前年比105%以上110%未満



:前年比90%以上100%未満



:前年比110%以上120%未満



:前年比100%以上105%未満



:前年比120%以上

※なお、下地の色が濃いほうが、上記範囲内で前年との増減差が大きいことを表す。